

スラバヤ市における飲料水供給事業

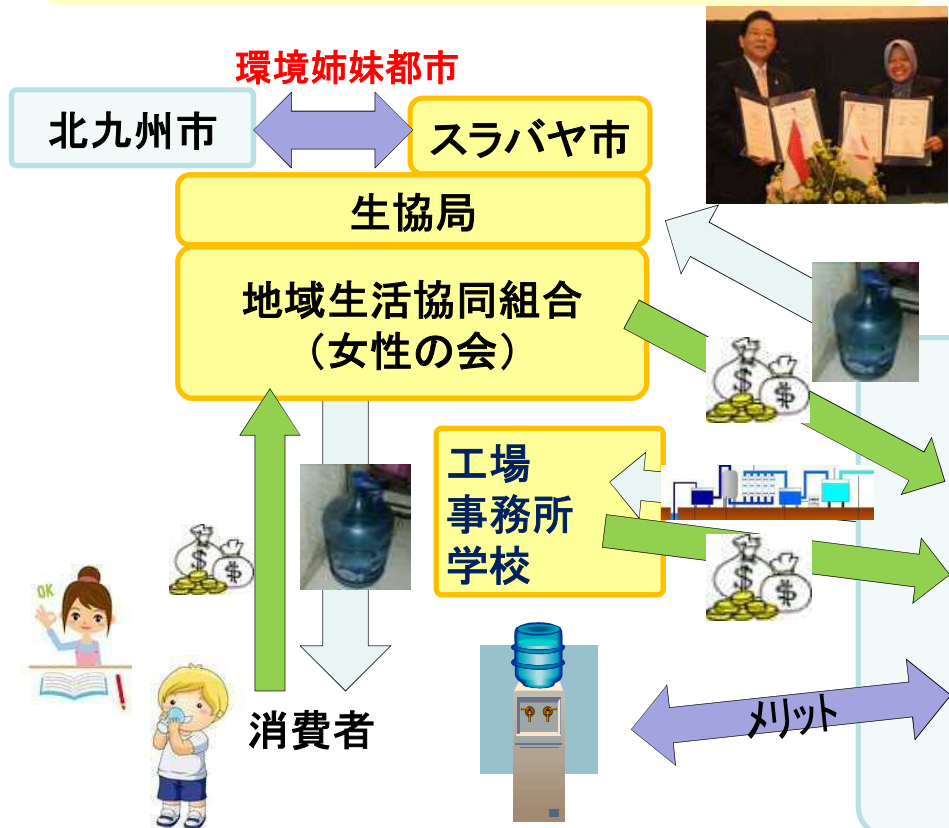
(株)いしかわエンジニアリング

JICA「草の根技術協力事業(地域経済活性化特別枠)」(2013~2015年度) ③

現地の水道水は一般的に飲用に適さないため、多くの住民は安全な飲用水を得るために水道水を煮沸するか、市販のパッケージ水等を購入。しかし、水道水煮沸では安全性を確保できず、また、パッケージ水購入費用は家計を圧迫している。

飲料水供給システムのビジネスモデル

商品	(1)レフィル水(持ち運び用飲料水) 安価で、高品質かつおいしい飲料水 現地水道水を処理した日本ブランドの飲料水 (2)日本の浄水技術による飲料水供給装置
顧客ターゲット	(1)レフィル水を購入しているスラバヤ市民 (2)工場、事務所、学校など
販売方法	レフィル水は地域コミュニティ(女性の会)が組織する生協(150か所)を通じて販売する
メリット	<ul style="list-style-type: none"> 健康リスクの削減 雇用創出 飲料水に対する浪費の削減



(株)いしかわエンジニアリング インドネシア現地法人

